



# 通勤・通学：昼と夜で人口が一番違うのはどこ？

## 昼夜間人口比率（平成17年）

上位

順位	市区町村名	昼夜間人口比率
1	東京都 千代田区	2047.3
2	大阪府 中央区	761.8
3	東京都 中央区	659.5
4	愛知県 中区	494.6
5	東京都 港区	489.4
6	大阪府 北区	430.4
7	大阪府 西区	273.3
8	東京都 渋谷区	272.4
9	東京都 新宿区	253.5
10	兵庫県 中央区	243.1

下位

順位	市区町村名	昼夜間人口比率
1	大阪府 豊能町	63.9
2	千葉県 栄町	65.0
3	宮城県 七ヶ浜町	65.3
4	茨城県 利根町	65.4
5	京都府 加茂町	67.6
6	千葉県 本埜町	67.6
7	奈良県 平群町	68.8
8	埼玉県 鷲宮町	69.2
9	青森県 階上町	70.0
10	神奈川県 宮前区	70.1

注1) 昼夜間人口比率：常住人口100人当たりの昼間人口の割合  
 注2) 常住人口：3か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている人  
 注3) 昼間人口：従業者又は通学者の仕事・通学している場所における人口  
 注4) 常住人口が5千人以上の市区町村を対象



# 通勤・通学：昼夜間人口比率は、どこで高い？

## 東京都特別区部の昼夜間人口比率(平成17年)



# 通勤・通学：どの県が一番？ ～特別区部への通勤・通学

常住地別15歳以上流入人口  
(特別区部 -平成17年)

